

# 研究大学における教育国際化戦略について：北海道大学の事例

## 高木由紀（北海道大学 創成研究機構 URAステーション）

### はじめに

研究大学における国際教育戦略においては、研究活動の状況に応じた様々な国際教育連携を実施することで、更なる研究力の強化につながる事が重要である。本ポスターでは、北海道大学においてこれまで開発されてきた国際教育連携スキーム、北海道大学が現在直面する教育連携の現状と課題を概観する。最後にこれらの課題の解決法として、今後導入される二つの取組み、ラーニング・サテライト、およびサマー・インスティテュートを紹介する。

これら二つの取組みにより、個々の研究者レベルで行われる研究・教育交流を元として発展することが多かった従来の国際教育交流から、より戦略的、組織的な研究・教育交流を実施するための基盤が構築される。こうした基盤の確立により本学システムの国際通用性が高まるとともに、大学全体としての研究・教育戦略に基づいた、海外連携先機関・連携分野の選定が可能になることにより、本学教育システムの本学の研究力が強化されると考えられる。

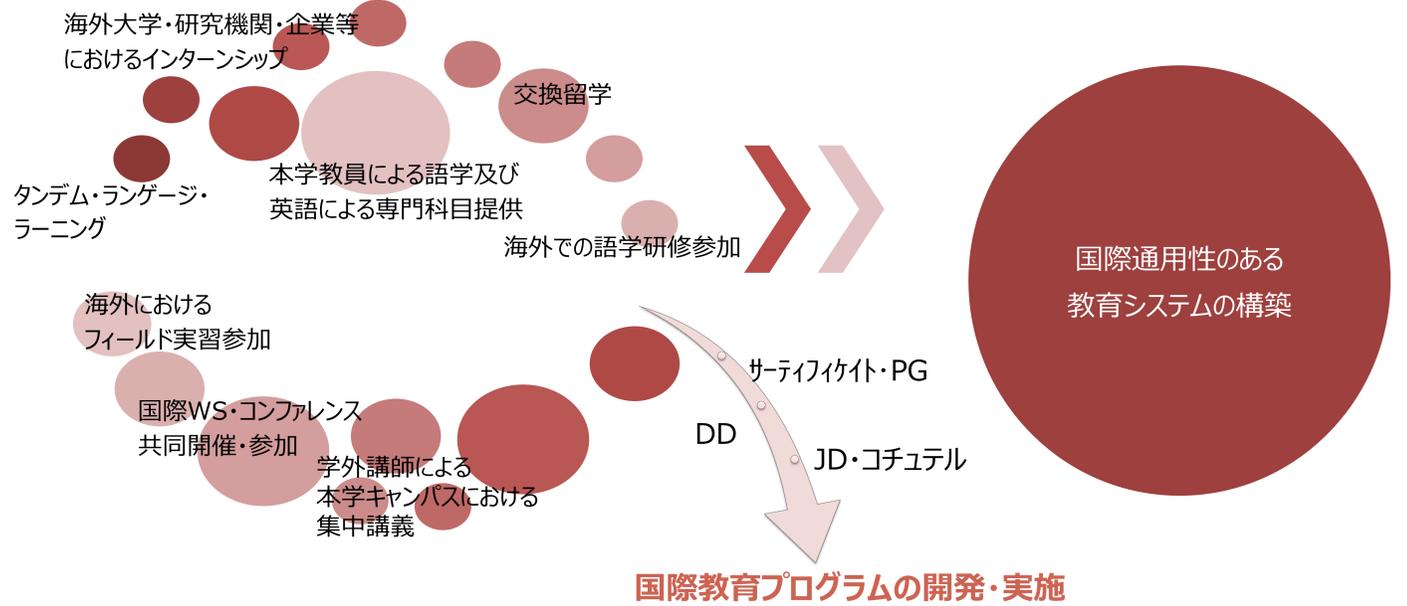
### 様々な国際連携スキーム

これまで北海道大学では、主に研究者レベルでの交流を通じて、様々な国際連携スキームが開発されてきた。

開発された連携スキームは個々の研究・教育目的に応じ単独で、もしくは組み合わせられて国際教育連携事業として実施されてきた。

学内で実施される様々な国際教育連携事業のうち、下記の条件を満たすいくつかの事業については、国際教育プログラムへと発展。

- 北海道大学（および連携校の双方）において、連携対象となる分野の研究者が一定程度集積していること
- 導入プログラムに対し、学生からの需要が十分見込まれること



### 本学の国際教育連携の特色と課題

#### ●大学院レベル

特色：国際化が進展する工学院等を中心に、これまでの研究・教育交流実績を発展させ独自・共同で国際教育プログラムを開発・実施中。英語による学位プログラムが導入されていない部局においても、留学生が講義に参加する場合は、英語で授業を行うことが申し合わされているなど、国際化がある程度実質化している。

課題：一層の国際化を加速させるために、これまで研究・教育交流実績があまりない分野においても海外機関との交流機会を拡大することが必要。

#### ●学部レベル

特色：文系4学部合同による現代日本学プログラムを導入、理系の国際教育プログラム導入を検討中。海外留学生からの需要が多い短期留学プログラムについてプログラム実施期間、内容の多様性を担保することで柔軟に受入可能にしている。日本人学生向け国際化プログラムとして新渡戸カレッジを実施。

課題：既存の国際化プログラムをフルに活用するために、本学キャンパス内における共修環境の整備が重要。

#### ●その他の取組み

特色：定期的かつ継続的に実施される教育交流プログラムによる学生派遣に対し、毎年度1事業あたり200万円を上限として7-8件程度支援するなど。

課題：予算措置に加え、4学期制等さらなる国際交流機会拡大のためのシステムが必要。

### 北海道大学における教育国際化戦略

北海道大学の研究戦略（研究分野の状況）に応じた最適な連携相手、連携スキームの選択により研究力強化を伴う教育連携を組織的に実質化する。これまで研究・教育交流実績があまりない海外機関についても、交流機会を拡大するためのシステムを組織的に導入することで国際化を加速する。

#### ラーニング・サテライト

研究戦略上、重点地域となる地域を含む世界各地約60ヶ所に、北海道大学教員および学生を派遣し、講義、フィールド研修等の実施を通じた世界の課題解決に取り組む。

#### サマー・インスティテュート

4学期制の第2学期に、北海道大学のキャンパスに世界各地から研究者を招へいし、およそ300の教育科目を提供するとともに研究交流も行う。招へい者のうち数名については、総長裁量枠での招へいとし、北海道大学の重点研究戦略分野に応じた招へいとする。

### 本学が独自に実施する国際教育プログラム

	対象レベル	対象学生	コース名等
単位読替	大学院・学部	本学学生	全学部対象
サーティフィケートプログラム	大学院	本学学生他	Special coordinated training program for Sustainability Leaders and Sustainability, (CENSUS) 他
	学部	本学日本人学生	新渡戸カレッジ（学務部、国際本部）
	学部	協定校学生	Hokkaido University Short-Term Exchange Program, Japanese Language and Culture Studies（国際本部）
英語による学位プログラム	大学院	本学学生	修士・博士：E3（工学院）ほか2コース 博士：“Advanced Graduate School of Chemistry and Materials Science”（総合化学院）ほか2コース
	学部	本学外国人学生	Modern Japanese Language Program（文系4学部・国際本部）

### 海外機関との共同教育プログラム

	対象レベル	対象学生	コース名等
単位互換	大学院・学部	本学学生・連携大学学生	全学部対象
サーティフィケートプログラム	大学院	本学及び協定6大学の学生	Graduate Program for Fostering Frontiers of Practical Solutions in a Populations-Activities-Resources-Environments (PARE) Chain
	学部		-
学位プログラム	大学院（博士中心）	本学学生・協定校学生	導入に向けて先方機関と協議中
	DD	大学院	本学学生・協定校学生
	学部	本学学生・協定校学生	-
JD	大学院	本学学生・協定校学生	導入に向けて先方機関と協議中
	学部	本学学生・協定校学生	-

共同教育プログラムの導入には、提供科目のマッチング、教育システムのすり合わせなど多大なコストが生じる。またプログラムの導入後の稼働実績についても、北海道大学DDの場合、9コースのうち稼働しているのは5コース、これまでのプログラム参加者数8名（退学者、辞退者は含まない）である。